（作成者：クリニカルパス専門部会）

大腸ESDを受けられる患者さんへ

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院：1病日 ／ 治療1日前	2病日 ／ 治療当日（治療前）	2病日 ／ 治療当日（治療後）	3病日 ／ 治療後1日目	4病日 ／ 治療後2日目	5病日 ／ 治療後3日目	6病日：退院 ／ 治療後4日目
達成目標	・治療について理解できる					・退院指導の内容を理解できる	
			・下血がない ・顔色蒼白がない ・腹痛がない				
内服	・薬剤師が、持参薬および服薬状況について確認します ・21時に下剤を内服します 	・朝6時頃、下剤を内服します		・医師の指示後、内服を再開します			
治療		内視鏡室で粘膜下層切除術(ESD) 					
注射		・点滴をします 			・点滴を抜きます		
検査	・採血 ・尿検査 ・レントゲン ・心電図/肺機能 	・採血	・レントゲン	・採血 			
処置		・弾性ストッキングを着用します		・弾性ストッキングを脱ぎます			
食事	・21時以降、食事は摂れません ・飲水はできます	・絶食です。飲水はできます	・絶飲食です	・医師の指示後、飲水から開始します	・朝食から5分粥を開始します	・7分粥になります	・全粥食になります 
活動・安静	・制限はありません		・帰室後30分はベッド上安静です。医師の許可後、看護師付き添いでトイレ歩行ができます。ナースコールでお知らせください	・病棟内は制限ありません		・制限はありません	
清潔	・制限はありません 	・シャワー浴はできません ・歯磨きをしてください	・シャワー浴はできません	・身体を拭きます 	・シャワー浴ができます		
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が治療の説明をします ・治療前オリエンテーションを行います ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します				・退院後の生活について説明します		
							・薬剤師が、退院後の薬剤について説明します
その他	・同意書は職員にお渡しください	・便の状況を看護師が確認しますので、排便後は水を流さず、トイレからナースコールでお知らせください					・病棟スタッフが、退院処方の必要性や処方の確認を行います
	・便に血が混ざっていた時は、水で流さずにナースコールでお知らせください 						

【退院後の生活について】

・退院1ヶ月後の内視鏡検査までは、香辛料などの大腸に刺激を与える食品は避け、油物の多い食事も控えてください
・外来受診までは、お粥や柔らかい消化の良い物を食べてください。また、消化をよくするために、よく噛んで食べてください
・退院後1週間は入浴を控えてください。1週間を過ぎれば、入浴はできますが、長湯は避けてください
・飲酒や喫煙は治癒を遅らせる原因となりますので控えてください
・治療後再出血の可能性があるため、重いものを持ったり、過度な運動は控えてください。運動の再開時期等は、外来受診時に医師に確認してください
・力作業をする場合は、仕事開始の時期について、外来受診時に医師に確認してください
・便に血液が付いていないかを観察してください

以下の症状があるときはご連絡ください
・便に血が混じる
・38.0℃以上の発熱
・激しい腹痛

【緊急連絡先】
・診療日時間内（8：30～17：00）
内科外来：0985-85-9883

・休診日・診療日時間外
3階西病棟：0985-85-1745



診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。

宮崎大学医学部附属病院
2024年2月承認
2026年10月更新